



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番
98.8.14 No. 4832

5.28反動判決・自民党3条件弾劾

8.21 国鉄闘争の勝利をめざす労働者集会に、全力で集まろう

●8月21日(金)13時~
●東京・星陵会館 本館
(地下鉄赤坂見附下車5分)
(主催) 動労総連合

「日刊」前号でふれたとおり、国鉄闘争は、その勝敗を左右する決戦過程に突入した。
5・28判決「自民党3条件」という大反動攻撃を背景として、密集した反動が生みだされている。JR総連・革マルは、「国労解体」の一点に焦点を当てて卑劣な攻撃を開始している。また、JR連合も、「和解したい」というのなら、まず自らがけじめをつけるべきだ。「国鉄労働組合」という名称自体が疑問だ。七つの会社に分かれている現状に照らし、組織機構も見なおすべき「(JR連合会長島野)と、自民党と一体となって国労の全面屈服を迫っている。」
ところが、国労の内部からもこうした攻撃に与して、国労の連合化と変質「一〇四七名闘争団の切り捨てを画策する部分が生みだされている。」
例えば、東日本エリアでは、全国組織としての国労を解体し、JR連合との組織統一を行うことを視野に入れて、鉄産労やグ

リーユニオンに対し、「全国大会前に共同声明をだす」「国労、鉄産労相互の運動方針に明記する」「JR東日本との間で、不当労働行為事件を整理し、「正常化宣言」を行う」等の申し

労働者の反乱が始まった 揺らぐ小淵自民党内閣 参議院選挙が示したもの

反乱の始まり!

臨時国会が始まった。参議院選挙の結果は、労働者の意識がこれまでになく大きく流動化し、「政治的無関心」と言われてきた状況を脱して、政治化し始めていることを示した。投票率の大幅なアップ、自民党の大敗とも、マスコミも含め誰も予測できなかったことであつた。前回の参院選と比べ、約15%投票率が上がり、千三百万人が投票に向かい、それが自民党批判票となつたのである。しかも、マスコミの調査によれば、その60%が都市部の20代・30代の若者であつたという。またこれまでの自民党支持者の30%が自民党以外に投票した。

自民党政治に対する激しい批判は、民主党と共産党に流れたが、これは、これまでの経験ではおし図ることのできない意識の大きな変化を示すものであり、反乱の始まりである。

問われている課題

入れ話し合いを行うことが議論されているに至っているといふのだ。とんでもないことだ。われわれは、今こそ、5・28判決弾劾の大運動をまき起こし、「自民党3条件」をきっぱりと拒

他方でこうした状況は、われわれに問われている課題が極めて大きいことを示している。労働者の声を代表する政党が全く存在しなくなつてしまつている現状をいかに打破することが出来るのか、「労働運動の新しい潮流」が、労働者の怒りの声を結集し、時代に対抗する力をもつことが出来るのか、このことが問われている。

否し、原点に還つて闘いの体制を創りあげなければならぬ。動労総連合は、8月21日、緊急に、国鉄闘争勝利に向けた労働者総決起集会を開催することを決定した。全力で結集しよう。

制の根本的な変革を真正面から掲げる思想と勢力の登場である。
小淵内閣が発足した。参議院では過半数割れし、出口なき経済危機のなかで、いつ崩れてもおかしくない脆弱政権だ。しかし結局小淵内閣は、危機に立てば立つほど、① 大資本の救済、② 労基法の解体を始めとした労働者への徹底した犠牲の転嫁、③ そして有事立法の制定と組織犯罪対策法の制定など、戦争政策と強権支配の道をつき進む以外にない。危機につき動かされた凶暴化内閣だ。

われわれが呼びかけてきたことが、労働者の気持ちと本當の意味で噛みあい、響きあう状況が生まれてきている。しかし、一方ではその意識が絶望に陥つたとき、排外主義、ファシズムに向う可能性・恐さをもっていることもよく見ておく必要がある。自由党の得票も五百万を超え、小沢待望論も根強いのだ。長期大不況―大失業時代の到来。起きている事態は、資本主義体制の終わりの始まりを告げるものだ。だから今必要なことは、資本主義体制を根底から批判しきる思想と勢力であり、体制